

Chidoribashi General Hospital



提供:福岡市

千鳥橋病院までのアクセス

バス

西鉄バス
※都市高速経由は停車しません

- 天神および香椎方面から
4・21・22・23・24・25・26・27番。
♀千代5丁目下車、徒歩3分
- 博多駅方面から15番。
♀千代5丁目下車、徒歩3分
- 粕屋方面から31・34・36・74番。
♀千代町下車、徒歩10分

地下鉄

地下鉄箱崎線

- 地下鉄箱崎線・千代県庁口駅
5番出口から徒歩10分

車

福岡都市高速1号香椎線

- 太宰府方面から千代IC下車、車で約7分
- 百道・天神・香椎・福岡IC方面から
東浜IC下車、車で約10分



お問い合わせ・お申し込みはホームページからまたは、下記までご連絡下さい

TEL 092-641-2761 担 当 医局事務部

所在地 〒812-8633 福岡県福岡市博多区千代5-18-1

E-mail ch-igakusei@fid.jp

H P <http://www.chidoribashi-resident.jp>

千鳥橋病院を知りたいなら
こちらの QR コードから



千鳥橋 医学生 で検索



病院データ：病床数350床／救急車搬入台数3,200台(2016年度)

総合診療のエキスパートへ

- ちどりde初期研修 千鳥橋病院の初期研修「4つの魅力」
- 千鳥橋病院の研修環境
- ちどりde後期研修 内科系総合研修「とおりもんプログラム」

千鳥橋病院
初期・後期研修医募集

ちどり de 初期研修



これが千鳥橋病院の初期研修「4つの魅力」

- ① 指導医(上級医)が教育熱心! 医局がアットホームなのでコンサルトしやすい!
- ② 病棟・ER・外来・往診と多彩な研修プログラムで成長できる!
- ③ 2年間のプログラムを自分流にカスタマイズできる。
- ④ 病院全体で研修医をサポートしてくれる体制があり、他職種が優しい。

初期研修医の声

松井 友美 医師

出身大学:長崎大学
部活:軽音楽部・室内樂
趣味:バイオリン、カフェめぐり

初期研修医 1年目

Q なぜ千鳥橋病院での初期研修を選んだのですか?
医学生の頃は、総合内科に全く興味がありませんでしたが、千鳥橋病院の実習に来た時に、common diseaseから重症の疾患まで診ている先生を見て感銘を受けました。見学時には看護師さんやメディカルスタッフの皆さんが気さくに話しかけてくれて、コミュニケーションの活発さや雰囲気の良さも選んだ理由です。チームワークも大切にして、仕事をするスタイルに共感しました。

Q 千鳥橋病院の研修で強く印象に残っている研修は?
1年次の後半6ヶ月の中で行う「在宅研修」です。退院後等の患者さんのご自宅に指導医の先生と往診するのですが、生活状況やご家族との関係等、入院時では把握できなかった多くの気づきが得られます。疾患の原因を自分の目で見るからこそ、病気の本質に迫るのが千鳥橋病院の研修です。患者さんを全人的に捉え、社会的な側面からも医師が介在して医療を提供することの重要性を学んでいます。

Q 指導医や他のスタッフとはどのような関係性を築いていますか?
指導医の先生方の教育熱心さを感じています。救急当直では研修医がファーストタッチを担うのが基本ですが、診察室の後ろにある控室で上級医の先生がチェックをして診察後に要点を押さえたフィードバックをしてくれるので現場での実践力がグンと上がります。また珍しい症例や資料画像等があると、すぐに教えてくれます。先生方と何でもフランクに話せる雰囲気がありますね。

Q OFFの時間や休日はどのように過ごしていますか?
友人と買い物をしたり、美味しいものを食べに行ったり、街を満喫しています(笑)。病院から天神までバスで10分程度ですし、博多にも電車で数駅の距離です。また福岡空港も、新幹線も近いという最高の立地なので「日本一交通の便利の良い研修病院かも(笑)?」と思っています。

voice

初期研修「指導医の声」 呼吸器内科科長 角銅 しおり 医師

プログラム
責任者

voice

Q 千鳥橋病院の研修についてその特徴を教えてください?

2年間のプログラムの中に、往診と外来診療を行う「在宅研修」「外来研修」を必修としており、地域医療およびプライマリ・ケアを身につけたいと考える人には抜群の研修環境です。多彩な必修研修によって、多様な患者さんや疾患に触れ、問題を抽出する力と状況に応じた解決力を育みます。それは医学的な要素だけではありません。必要なのは、疾患の裏側にある患者さんの生活や人生をしっかりと把握し、総合的な観点で病気を治せる力。多職種とのチームワークを重視する中で、医師として欠かすことのできない土台を構築する2年間となります。



佐々木 拓也 医師

出身大学:琉球大学
部活:サッカーチーム
趣味:体を動かすことなら、何でも好き!!

初期研修医 2年目

Q 千鳥橋病院の研修で印象に残っている研修は?
入職最初の「オリエンテーション+導入期研修」です。4月からの4ヶ月間、医師としての基本的な知識を習得していきます。電子カルテの使い方やオーダーの取り方、ベッドサイドに立っての初めての内科診療等、戸惑いながらも研修医同士で悩みを共有し、アドバイスし合うことで絆を深めた期間でした。少人数だからこそ、仲間意識がしっかりできるのが千鳥橋病院の研修の良さです。

Q 千鳥橋病院の研修で、自分のキャリアにプラスになっている研修は?
小児科と産婦人科の必修研修である「母子医療保健研修」は、貴重な学びが得られました。特に2年次の小児科では、印象に残る症例が多かったです。虐待が疑われる親御さんの子どもを診た例では、家庭状況を把握し、児童相談所に出向いて調整をはかる等、疾患を診ること以外でもその家族と深く関わり、子どもの病態の改善を重ねて本当の意味で患者さんに寄り添う手応えを感じることができた研修でした。

Q 千鳥橋病院の研修病院としての一番の良さはどこにあると感じますか?
どこまでも研修医を主体に考えたプログラムではないでしょうか。もっと学びたい、自分に足りないと思う科は優先的に選択でき、地域医療研修も九州・沖縄の各県で研修できるのも多彩な選択肢に恵まれていると感じます。そして導入期や必修研修の内科研修はトータル8ヶ月と、内科の充実度は群を抜いています。また、指導医の先生方の「教え好き」なところが素晴らしいです!

Q OFFの時間や休日はどのように過ごしていますか?
学生時代からサッカーをやっていて、今も病院のスタッフでチームを作って楽しんでいます。千鳥橋病院はスポーツのクラブ活動が盛んで、私もサッカーをはじめ、バーレーボールと陸上、そして釣りのクラブを掛け持ちしています。隣の九州大学病院のサッカーチームとプレーする等、スポーツでフレッシュできる環境があるのは嬉しいですね。

voice

初期研修プログラム年間スケジュール(例)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オリエンテーション	総合内科 (導入期研修)		救急	(選択①)	内科	外科	内科 (選択②)				

1年目

ER週1単位/ER当直

腹部エコー研修 週1単位

往診(在宅研修)隔週1単位

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PC外科 *(産婦人科1ヶ月+小児科2ヶ月)	母子医療保健 (産婦人科1ヶ月+小児科2ヶ月)		(選択)	地域医療	(選択)	(選択)	精神科	(選択)			

※PC外科…プライマリ・ケア外科の略。整形外科、皮膚科、眼科をローテートします。耳鼻科も研修可能。

募集要項

募集人数 4名

応募資格 医師国家試験合格者、および見込みの者

必要書類 ①履歴書 ②成績証明書
③卒業見込み証明書または卒業証明書
④小論文 ⑤アンケート ※小論文・アンケートはホームページからフォーマットをダウンロード

選考日程

随時行っております。
詳しくはお問い合わせください。

選考会場

千鳥橋病院

初期研修待遇

給与 1年目300,000円／2年目332,000円
※各種手当、賞与(年2回)あり

身分 常勤職員(健康保険、厚生年金、雇用保険有)

休暇 夏期・年末年始・盆休み・その他有給休暇あり

宿舎 なし(住宅手当支給)

その他 学会参加保障あり

最高評価の
6年認定

臨床研修病院第三者評価で(JCEP受審)

最高評価の6年間認定を取得しました!

初回受審で6年間認定は全国初

JCEP(特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構)によるサーベイ・評議会議が行われ、以下のような評価をいただきました。「地域に密着した良い研修がなされています。病院全体で、積極的に医師臨床研修に取り組んでいます。研修医一人ひとりがいきいきと研修し、満足度も非常に高く良い研修が行われています。研修プログラムの内容も充実していますので、さらに今後もその内容が見直され続けられれば、研修医・指導医にとってよりわかりやすいプログラムとして洗練されていくことが期待されます」

ちどりばしのココがおススメ!

安心できる研修環境

千鳥橋病院では安心して研修に集中していただけるよう、様々な体制、施設をそろえています。



アットホームな医局



千鳥橋病院は単一医局で、指導医や上級医などにコンサルトしやすい環境です。医局内には個人用机、電子カルテPC、食堂を設置しています。Wifi環境、スキャナ複合機ほか、各種作業スペースあります。レジデントルームには、ソファ、書籍、雑誌、デスクを設置しており、研修医の憩いの場となっています。研修スケジュールや住宅等、生活面についての相談も研修担当事務がサポートしています。



病院内外の交流会や

「千鳥橋病院主催 研修医歓迎会」



イベントが充実!!

「毎年恒例! 医局レクリエーション」



野球観戦!
Baseball

「JOYJOY～女性医師交流会」



ボーリング
Bowling



多職種交流が深められるチーム医療



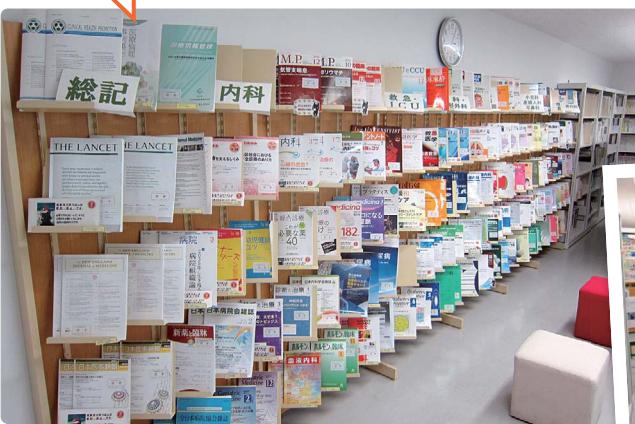
地域診断
フィールド
ワーク

患者・主治医
体験



入職後1ヶ月は、オリエンテーションとして、患者主治医体験、薬剤部、放射線部などの各部署や訪問看護、ヘルパー体験などの他職種が行う業務を体験していきます。看護師や事務職員等とチームを組み、地域住民へインタビューをして、地域を知る取り組みである「地域診断フィールドワーク」を毎年行っています。また、病棟カンファレンス以外にも、多職種カンファレンス、ケースカンファレンス、NST、ACLSなどの各種チーム会議などを行っており、多職種で患者さんの情報共有もしています。

充実の学習環境



医局と同じフロアに図書室(学術支援センター)があり、各種専門書、新着医療雑誌等を揃えています。文献検索、複写依頼、レファレンス業務を担当する司書が常駐しています。Up To Date、医中誌などの検索が可能です。



研修医の健康管理も万全!



健康診断を年2回行っています。院内にあるメディカルフィットネス「スマイル」を利用できます。心配事、悩みなどメンタル面でのフォローの衛生管理者や研修委員長との面談を行い、研修をサポートしています。

女性医師を応援するJOYJOY支援室



女性医師が結婚や出産後も安心してはらき続けられる職場づくりを行うため「女性医師就労支援室(JOYJOY)」を設置しています。また、院内保育所の「てんとう虫保育園(満1歳まで)」があります。

ちどり de 後期研修

当院では後期研修を「学習、労働、役割を持った組織人として成長する時期」と考え、多面的に支援しています。アウトカムは「主治医としての総合的臨床能力を備え、人と地域を診ることができる医療と健康増進の専門家」。後期研修は「適切な教育カリキュラムのもとで、多くの経験を積み、学習をし、役割を引き受けて成長する期間」「自分の専門分野を志向していく期間」として位置づけています。

後期研修「指導医の声」

総合内科 有馬 泰治 医師

後期研修
責任者

voice

Q 千鳥橋病院の研修についてその特徴を教えてください?

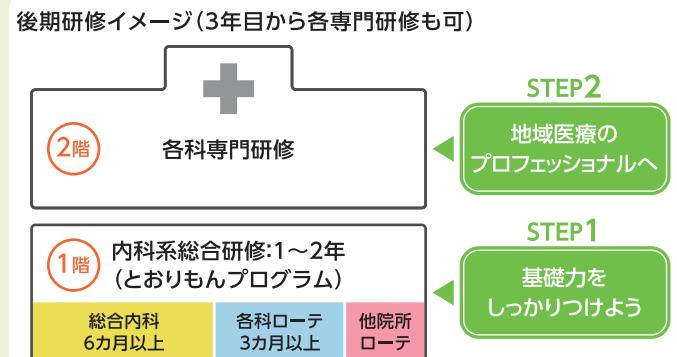
当院の後期研修における一番の魅力はいわば「総合性」です。2年間の内科分野の初期研修で足りなかった部分を3年目の1年目で総合的に学習します。救急外来やICUやHCUにおいて、後期研修医が主体的に臨床の一線に立つほか、指導医を2ndにつけたダブル主治医制でサポートするため、総合的な臨床能力を養っていくことができます。当院が重視する地域医療において、医師が注力すべきは患者さんやご家族との緊密なコミュニケーションであり、チーム医療の積極的な推進です。それらを身につけ、医師として最も成長できるのが後期研修1年目。人と地域を診ることができる医師として総合的なレベルアップを図りたい人には最適な環境です。



エントリーコース

- 内科専門医プログラム
- 総合診療専門医プログラム(家庭医療専門医)
- 内科系総合研修「とおりもんプログラム」

*3年目は専門の科を決めずに内科的な力量を伸ばす「とおりもんプログラム」も選択できます。プログラム終了後は各専門研修に進みます(外科、小児科、産婦人科など)。



voice

現在、外部研修中! 緑 春奈医師(4年目)家庭医プログラム専攻医

私は、千鳥橋病院での初期研修を経て、3年目以降は家庭医プログラムにのって研修を行っています。当院の後期研修プログラムは、希望に応じてflexibleな研修プログラムを組んでもらうことができ、私は、救急科・小児科研修を福岡徳洲会病院で研修しています。外部病院での研修を希望した理由は大きく2つあります。1つ目は、初期研修を千鳥橋病院で行い、その間すでに救急科・小児科をローテートしていたため、千鳥橋病院での経験が少なかった症例(外傷など)を経験したかったこと、もう1つは、慣れない環境で研修することで、自分の課題を抽出したかったことです。

初期研修2年目の時、希望で外部研修にいかせてもらったりましたが、慣れない環境にいると、「状況を把握し臨機応変に対応する力」や「標準化された診療を適切に行う力(先輩がやっていたから…では、通用しない!)」、「初対面の方とでもチーム医療を行えるコミュニケーション能力」などがより必要なのだと痛感しました。そういうことに気付けるのも外部研修の魅力の1つだと思います。

現在は救急科をローテート中ですが、千鳥橋病院では症例数の少ない外傷や心臓血管外科領域の症例を積極的に経験させていただき、非常に有意義な研修ができています。今後は外部研修で学んだことを千鳥橋病院で活かせるように頑張っていきたいと考えています。



福岡徳洲会病院で救急ローテート中!



こんなひとに
ぴったり

- 地域医療の現場で活躍できる専門医に成長したい。
- 総合診療、家庭医方面に進みたい。
- 内科総合的な力をしっかりとつけてから領域別専門にすすみたい。
- 自分の希望を反映させてカスタマイズしたい。

後期研修医の声

川田 淳史 医師 3年目

辻 隆宏 医師 7年目

伊藤 洋 医師 5年目

Q なぜ千鳥橋病院での後期研修を選んだのですか?

香川の市中病院での初期研修を経て、内科をさらに掘り下げたいと考え、総合内科の強い病院を探していました。以前から九州の地への憧れと内科系総合研修のプログラムに惹かれて選択しました。日々、総合内科らしい多彩な疾患が貴重な経験になっています。そして10年目未満の若手の先生が多く、新たな知見を取り入れる前向きさも気に入っています。

Q 千鳥橋病院の後期研修で、自分のキャリアにプラスになっている研修は?

毎週木曜日のカンファレンスは、医師の他、看護師やメディカルスタッフが一同に会してチーム医療を進めていく場です。ディスカッションを多職種間で行い、多角的な視点から患者さんの状態改善を促しています。またスキルアップ研修では、エコーや内視鏡等の技術を集中的に学べる場です。できるだけ腰を据えて学べる勤務体制がありがたいです。

Q 職場としての病院はどのような雰囲気ですか?

若い先生が多く気さくに話せる雰囲気あり、研修医同士で定期的に飲み会を行う等楽しい職場です。休憩スペースはドリンクサーバーが置かれ、朝と夜にはちょっとした食事が準備されています。今日は、子どもの児童手当の申請を、事務スタッフの方が代わりに役所で手続きをしてくれる等、親身なサポートとアットホームさが魅力ですね。

Q OFFの時間や休日はどのように過ごしていますか?

休日は妻と1歳の子どもと過ごすことが多いですが、天神や博多にも近く、病院の近くにも大きなショッピングセンターが点在していますから、買い物やレジャー等に便利です。家族を持つ人は、仕事は能率良くこなして積極的に早く帰ろうという意識があって、ONとOFFの切り替えがとても良いですね。ワークライフバランスを重視した病院だと思います。



出身大学: 兵庫医科大学
部活: ボランティア部
趣味: 旅行



出身大学: 自治医科大学
部活: バドミントン部
趣味: 読書



出身大学: 熊本大学
部活: ボランティア部
趣味: カメラ、旅行

voice